

富山県全体における対応方針

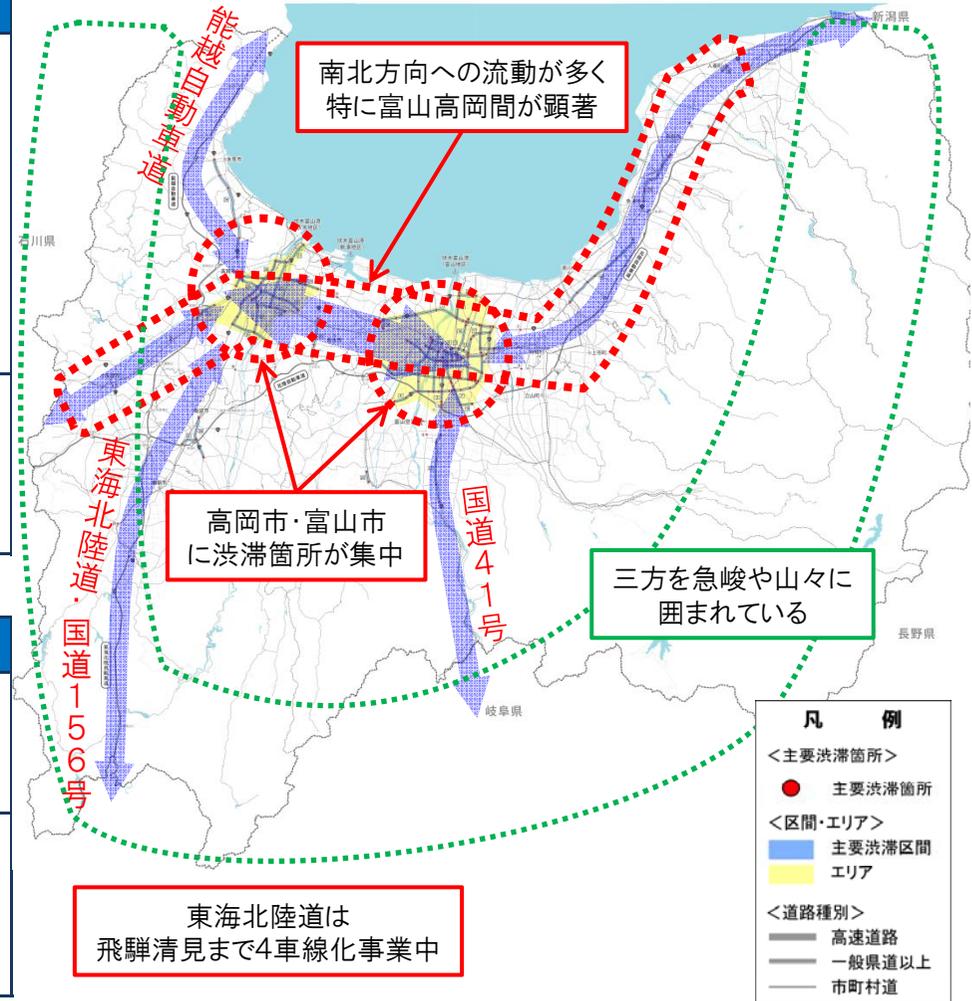
(1) 富山県の概況

概要	
富山県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 富山市を中心に半径50kmというまとまりの良い地形で、三方を急峻な山々にかこまれ、富山市と高岡市の2つの都市に、60%の人口が集中している地域構造。 ● 流動方向は、国道8号や北陸自動車道などの幹線交通基盤が整備された東西方向への流動多く特に富山高岡間が顕著。 ● 南北方向は、北陸と中部を結び、東海北陸道・能越自動車の供用や4車線の整備が進んでおり、並行する国道41号、国道156号も合わせて、新たな対応が必要。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 県民活動に著しい影響を与えている道路交通渋滞は、朝夕のピーク時の交通集中により県内各地で発生。 ● 県西部の高岡市、県東部の富山市に渋滞箇所が集中しており、この2都市に全体の約70%が集中。

(2) 方向性

概要	
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> ● 富山市のコンパクトシティ施策に代表される公共交通活性化のソフト促進策と連携し、好事例を他の都市への浸透を協議することや情報提供などソフト対策としての交通渋滞軽減を進める。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路交通の円滑化を図るため、バイパス道路や環状道路整備などの道路ネットワークの充実や現道拡幅、交差点改良などのボトルネック(円滑な流動を妨げる隘路となる部分)対策を計画的に進める。

(3) 富山県全体の主要渋滞箇所



対応方針

バイパス道路や環状道路整備などの道路ネットワークの充実を図るとともに、富山市のコンパクトシティ施策に代表される公共交通活性化のソフト促進策と連携するなどのソフト対策による渋滞軽減の取り組みを図り、関係機関など必要に応じて検討組織を設置し、更なる対策検討及び対策効果を検討・検証して参ります。

富山市エリアにおける対応方針

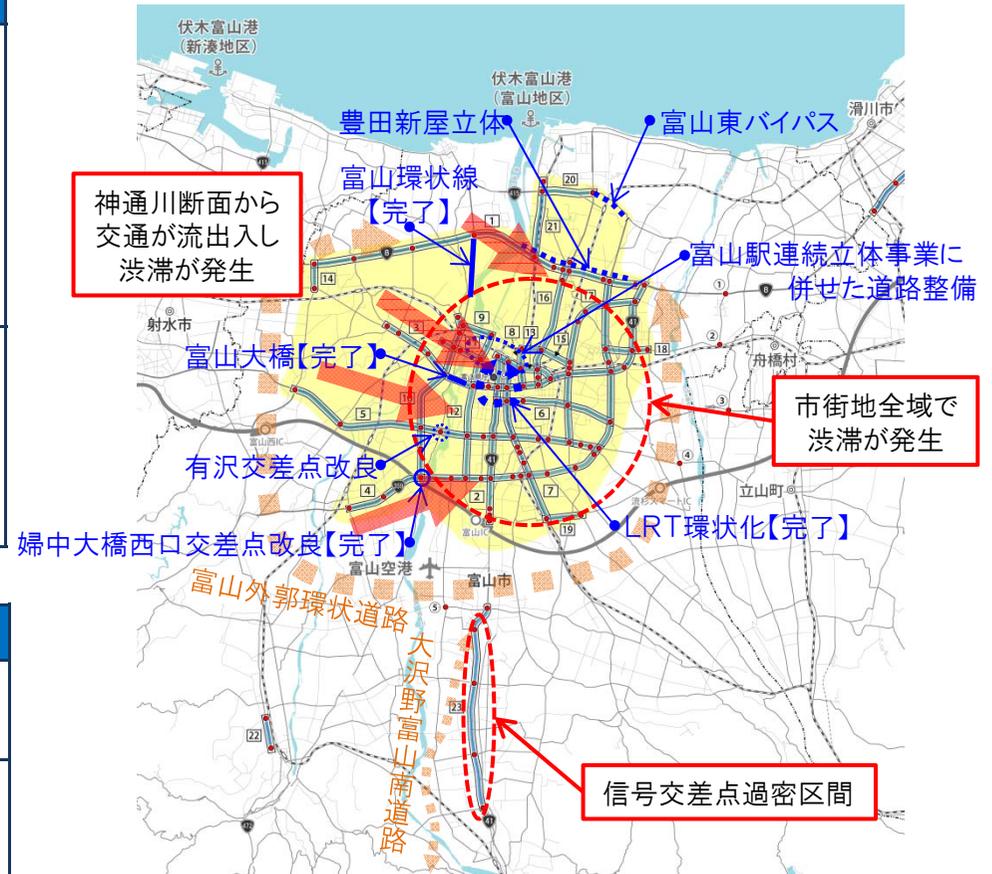
(1) 富山市エリアの概況

概要	
富山市エリアの状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 富山市は、県都・商都として都市機能が集積している。 ● 東西軸を形成する北陸自動車道、国道8号、JR北陸本線及び南北軸を形成する国道41号、JR高山本線をはじめ交通網が発達し、富山駅を中心として商業施設等の集積がある。 ● 富山高山連絡道路の整備により南北方向の交流圏域の拡大が期待されており、平成26年度末に北陸新幹線の開業を予定しており、首都圏との交流拡大が期待されている。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 富山駅南側を中心にして、神通川の河川断面から交通が流出入し、市街地全域で渋滞が発生している。 ● 市街地以外では、エリア南側の南北方向に国道41号が位置し、大沢野地区の信号交差点過密区間において渋滞(特に朝の通勤時間帯)が発生している。

(2) 現在の対策等

概要	
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> ● 富山市のコンパクトシティに代表される公共交通活性化(LRT環状化等)のソフト促進策と連携し、交通渋滞軽減を進める。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 東西方向は、富山大橋の整備効果を観察しながら国道8号の豊田新屋立体事業・富山東バイパス事業を推進する。 ● 南北方向は、大沢野富山南道路の事業着手を目指す。 ● また、市街地流入を抑えるため、富山環状線などの整備効果を観察しながら富山外郭環状道路の必要性を検討する。

(3) 富山市エリアの主要渋滞箇所と現在の対策等



対応方針

関係機関が連携し渋滞対策に取り組むものとし、富山大橋や富山環状線など供用した事業については、整備効果の経過を観察し、豊田新屋立体事業の整備を推進、大沢野富山南道路の事業着手を目指しながら、公共交通活性化のソフト施策と連携し、ソフト・ハードを含めた対策検討及び対策効果を検証して参ります。

高岡市エリアにおける対応方針

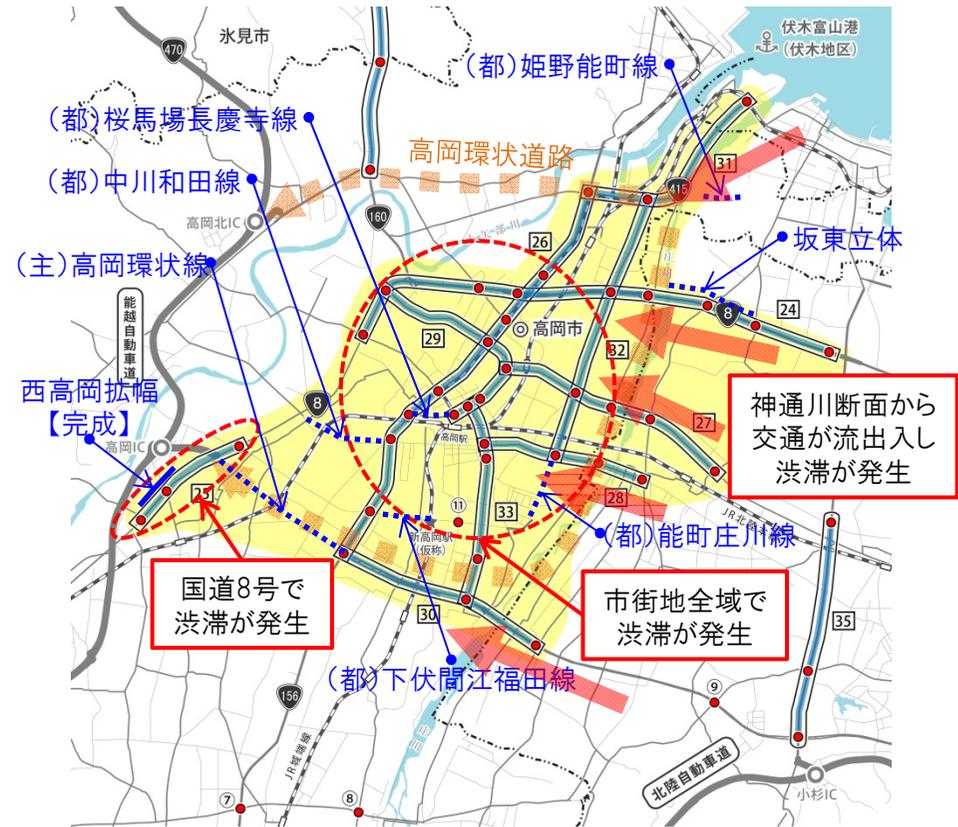
(1) 高岡市エリアの概況

概要	
高岡市エリアの状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 高岡市は、富山県西部の中心都市として機能している。 ● 東西軸では国道8号及びJR北陸本線、南北軸では能越自動車道、国道156号及びJR城端線などの交通網が発達。 ● 平成26年度末の北陸新幹線の開業により、首都圏との交流拡大が期待されるほか、新駅として新高岡駅が開業し、周辺の都市開発が進んでいる。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> ● JR高岡駅及び高岡市役所を中心にして、庄川の河川断面から交通が流出入し、市街地全域で渋滞が発生している ● 市街地以外では、高岡市エリア郊外の国道8号や庄川断面への交通集中に起因した渋滞が発生している。

(2) 現在の対策等

概要	
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> ● 万葉線や新高岡駅へのアクセスなど公共交通活性化に向けた各種ソフト対策と連携し、交通渋滞の軽減を進める。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道8号の坂東立体事業や(都)姫野能町線、西高岡拡幅事業を推進するほか、新高岡駅へのアクセス路として、(主)高岡環状線や(都)能町庄川線等の整備を推進する。 ● また、交通状況の変化を勘案しつつ、市街地への適切な交通分散と誘導を図るために、高岡環状道路の必要性を検討する。

(3) 高岡市エリアの主要渋滞箇所と現在の対策等

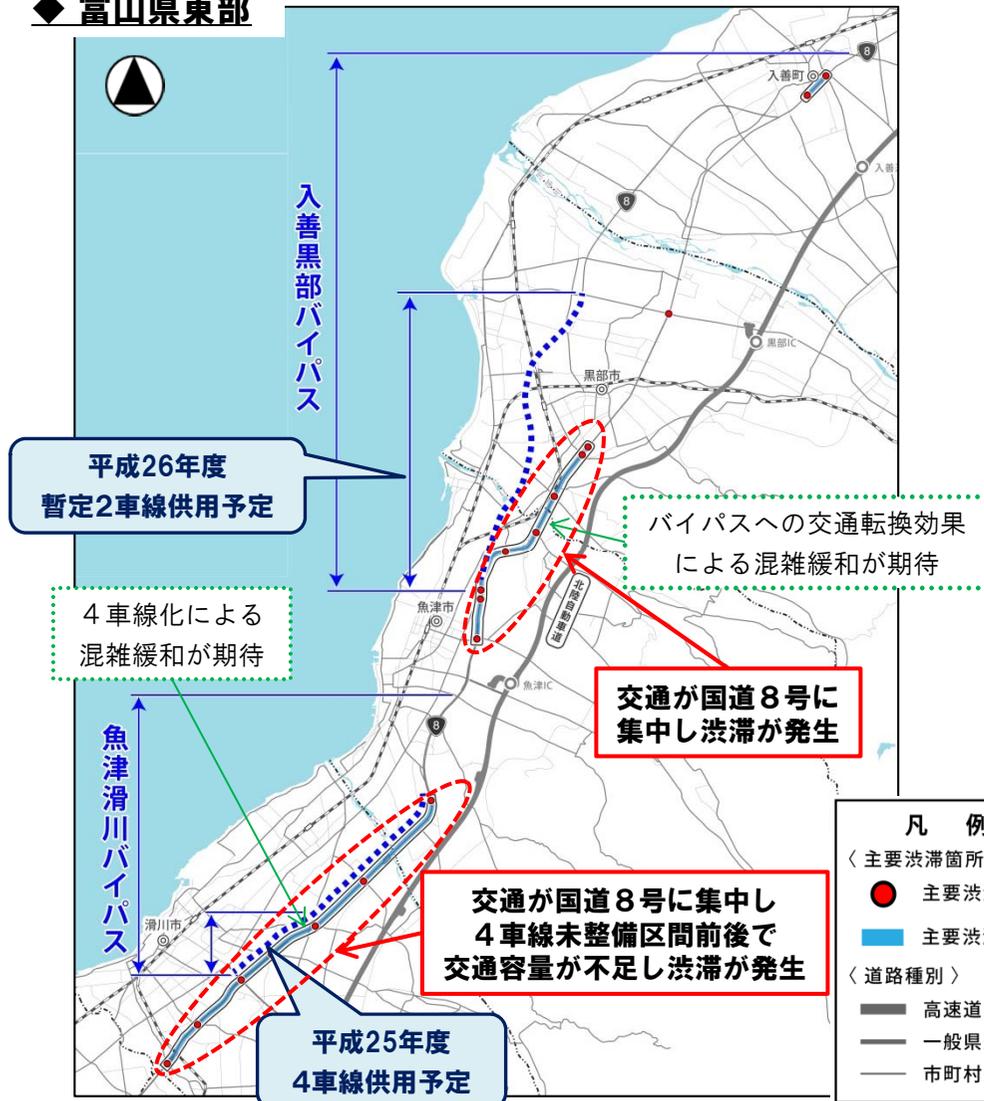


対応方針

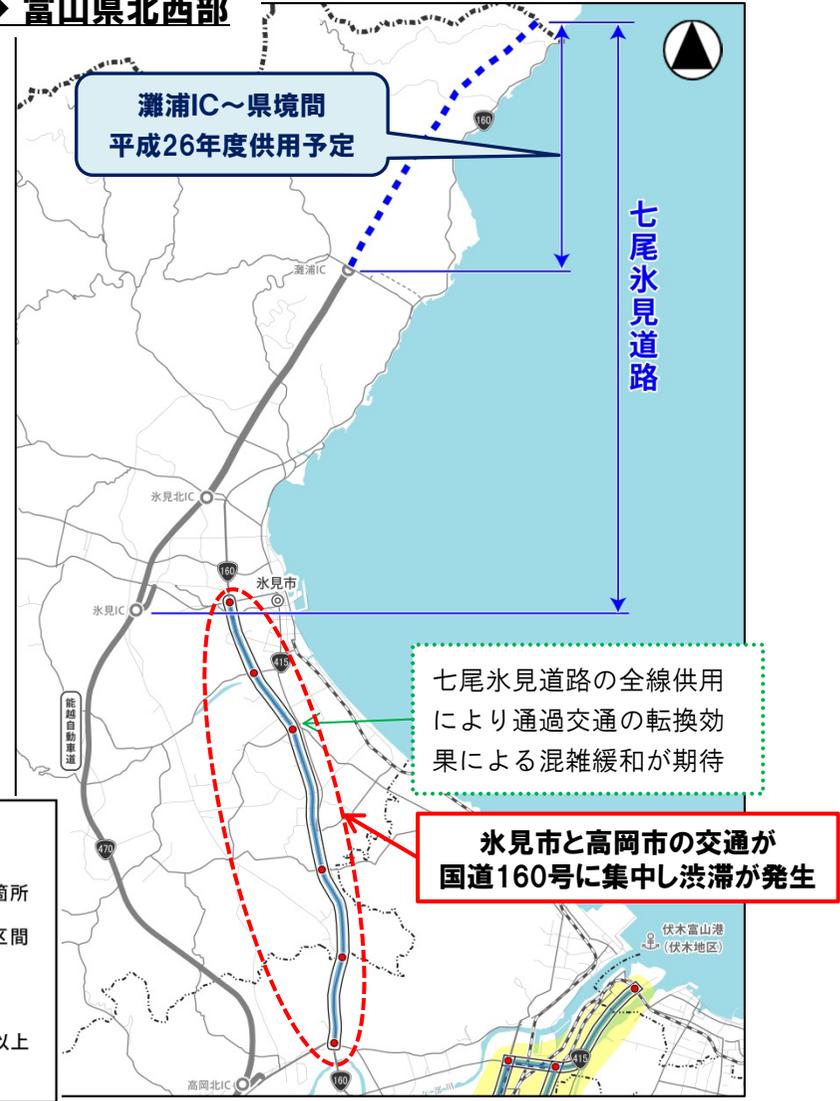
関係機関が連携し渋滞対策に取り組むものとし、郊外部は国道8号の坂東立体事業・西高岡拡幅事業の整備、中心部は新高岡駅へのアクセス路の整備を推進するとともに、事業による効果や北陸新幹線開業による交通状況の変化などを勘案しながら、ソフト施策との連携し、ソフト・ハードを含めた対策検討及び対策効果を検証して参ります。

その他地区における対応方針

◆ 富山県東部



◆ 富山県北西部



対応方針

主要渋滞箇所及び区間において、改築事業が該当する箇所については、引き続き早期の全線供用に向けて事業を推進して参ります。また、部分的に供用した区間については対策効果を検証して参ります。